



# PTAおやこあんぜん会

発行／(財)富山県PTA親子安全会 編集／広報委員会

富山市舟橋北町7-1 富山県教育文化会館内 TEL (076)433-2094 FAX (076)433-2096 E-mail anzenkai@ch.mbn.or.jp

## 災害に備えて今でできること

### ―東日本大震災の経験を通して―

日本赤十字社富山県支部  
事業推進課長 坂井 繁之

誰もが忘れない、忘れられない未曾有の地震と大津波が大きな爪痕を残した東日本大震災が発生して、早や一年が経とうとしています。

この災害により、二万名近い尊い人命が失われるとともに、社会基盤施設や国民の財産などに多大な損害をもたらしました。また、広域複合型災害となり、今なお避難生活を余儀なくされている方も少なくありません。

日本赤十字社の第一義の使命として救護活動があり、直ちに



石巻市立大須小学校内の救護所で巡回診療する富山班

医療救護班の出動準備を取り進め、二時間半後には第一陣を東北へ送り出しました。発災当日から八月末までの間、医療救護班十五個班を出動させるとともに、被災者へのこのころのケア、救援物資の搬送、被災地の赤字病院の支援など、富山県支部より延べ一六名を派遣することとなりました。

現地入りした医療救護班の多くは、第一次避難所となつている小・中学校などに救護所を開設し、診療や治療、投薬、感染予防など多岐にわたる業務を行ってきました。『余震の続くなか、

寒く暗く狭い教室の中で身を寄せながらお互い励まし合い救護や物資を待っている被災者が多かった。』との報告もあり、これまで私が携わった災害救護のなかで、最大級の被害規模と長期間の派遣、支援となりました。

ところで、先日、三階の校舎を大津波が飲み込んだ、岩手県大船渡市立越喜来(おきらい)小学校長に、児童と教職員の全員が無事避難することのできた経緯の体験談をお聞きする機会



全壊した大船渡市立越喜来小学校

きた。富山でも地域や地形の特性を今一度、確認する事が重要である。』と熱く話されました。まさしく、我々が日々の活動や生活を営んでいる学校、企業、自宅を危険な場所にしてはいけません。たとえば、廊下にある備品を整理し安全なスペースを確保しておくことや、家具や棚を固定しておくことなど、みんなと一緒に考えて準備し、一人一人が身を守り、家族や地域の力を更に高めていく体制も必要であると考えます。

最後に、被災地の一日も早い復興を祈らずにはられません。

があり、『子どもたちは一日のほとんどを学校で過ごしており、学校の安全神話は崩さぬようにしなければなりません。また、自然に体が動くように日々の避難訓練や正しい知識のための防災教育が大切であり、綿密な防災計画を立てて、避難行動や避難経路は限りなくシミュルにする必要がある。生死を分けるのは紙一重であり、そのためにも、地域の協力のもと安全・安心な学区を形勢していかなければならない。三陸沿岸地方は先人より地震イコール津波と言われて



被災地にたたずむお地蔵様

# 親子安全会、今年度の活動報告!

## 講演会の開催

今年度も、富山県PTA連合会総会に講演会を開催し、歌手の中島啓江さんをお迎えしました。

## 安全教育研修会の開催

毎年、三〜四地区を対象に、安全教育研修会を開催しています。今年度は、日本赤十字社富山県支部の坂井繁之さんを講師にお招きしました。

また、当会から開催地区単位PTAに対して、救急カバンをお配りしました。

## 見舞金等の給付事業

・災害見舞金の給付  
PTA行事中等に発生した事故・災害に対して、一月末現在で十九件、三十万三千円を給付しています。

## ・就学奨励金の給付

学費の支弁が困難な児童・生徒さんに対し、就学奨励金を給付しています。各校一名を原則とし、校長の推薦を元に、書面審査、現状調査等を行い、給付しています。

## ・その他の給付

ゲストティーチャー・学校

安全パトロール隊等の皆さまが活動中に事故・災害に遭われた場合に、特別見舞金を給付しています。

PTA会員の方が死亡された場合には、香典を給付しています。

## 損害賠償保険への加入

PTAの管理下における事故・災害により、PTA会長が損害賠償責任を負うことによって被る損害について、保険金をお支払できるよう、損害保険に加入しています。

## ビデオ教材の貸し出し

安全教育や命の教育のための視聴覚教材を用意しています。小学校低学年から中学生まで、それぞれの年齢に合った教材を無料で貸し出しています。

## 評議員会

各地区から推薦されたPTA役員や、小・中学校の教頭会代表者で構成されています。

当会の、事業計画や執行状況について、提言を頂いています。

## 理事会

各ブロックから推薦されたPTA役員や、小・中学校の校長会代表者、学識経験者で構成されています。

評議員会で協議された事業を執行する機関です。

## 制度改革ワーキンググループ

平成二十五年度からの、新公益財団法人を目指して、移行準備をしています。

## 行事委員会

毎年開催している、講演会や安全教育研修会の企画・立案・事業執行をしています。

## 広報委員会

年三回の広報誌「PTAおやおんぜん会」や「リーフレット」の編集・発行をしています。

また、ホームページの運用・管理も行っています。

## 判定委員会

災害見舞金給付の承認や、給付額の判断が困難な時や後遺障害認定時に開催し、その事故・災害状況の確認及び給付額の決定をしています。

このような活動を通して、PTA皆さんの「安心・安全」

## 多考

財団法人富山県PTA親子安全会  
平成24年度講演会

読売新聞特別編集委員

# 橋本五郎氏

## テーマ

真の教育とは何か

## 日時

平成24年6月2日(土)  
13:00~14:45

## 会場

富山県総合福祉会館 (サンシップとやま)  
富山市安住町5-21  
☎076-432-6141



ます。

この機会を与えてくれた家族そして、子どもたちに感謝します。

私たち子どもたちから親として、そして人間として学び成長する場をプレゼントされたのではないのでしょうか。

PTA活動を進める中で、私たちは多くの出会いの機会を得ます。そして、そのご縁でそれぞれに役割を頂き、子どもたち、会員や地域の方々に喜んでもらおうと活動しています。

## 編集後記



の一助になれるようがんばっています!  
詳しくは、当会のリーフレットやホームページをご覧ください。